

令和元年度 事業報告書

(平成31年1月1日から令和元年12月31日まで)

特定非営利活動法人メダカのがっこう

1 事業の成果

継続して個人・学校・企業に対する体験学習を通しての啓蒙活動、教材を使用しての教育啓蒙に努めました。田んぼの多面的機能を肌で感じるための田んぼ体験、観察と数字で理解するための生きもの調査。この田んぼをつくってくれている農家の暮らしを守り後継者をつくるためにお米をフェアトレード価格での販売。除草剤を使わない農家の最大の問題である田の草を研究し対策を体系化するための田の草フォーラムの開催。地球にも身体にも優しい有機農家の米、大豆、小麦、梅干し、菜種、大根などで伝統食である味噌、醤油、たくあん、梅干し、オイルなどをつくる醸造、発酵、塩蔵、圧搾技術を都市部の市民と学ぶ場の提供。新たにこの活動の一環として2019年子どもたちの食を変えたいママプロジェクトの武蔵野支部を始め、ママたちに上映会や学ぶ場を用意し、有機給食の活動仲間を増やす活動を行いました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
環境保全活動および環境保全型農業の普及、推進および啓蒙(普及事業)	生物多様性の田んぼで稲作の体験学習、田んぼ体験<農家支援部門事業> 援農草取りプロジェクト<農家支援部門事業> 無農薬のお米を食べる人は1年に1回以上は田んぼの草取りに出かけようという啓蒙活動の意味もこめて農家支援。	延年17回の 実地研修	千葉、栃木、 福島、静岡、 新潟	53名	会員及び企業・学校・消費者 延395名	18,783
	メダカのがっこうの事業実績に関する成果報告交流会(メダカのがっこう交流会)	11月3日	武蔵野スイングホール	10名	会員及び賛同者 33名	
	米飯食、身土不二の食材を使った料理教室や生きる力をつけるための各種教室を開催。<自給自足推進部門事業>	41回	メダカのがっこう田んぼカフェ他	86名	会員及び賛同者 延べ245名	
	体験の場を農家とした味噌・醤油造り、梅干し作り、たくわん作りなど伝統的食文化の継承と実践のための自給自足セミナー<自給自足推進部門事業>	12回	現地	37名	会員及び賛同者 延べ77名	
	食育を目的とした上映会や講演会の実施<食育啓蒙事業>	14回	メダカのがっこう田んぼカフェ他	34名	会員及び賛同者 延べ135名	
	子供の食を有機にするため武蔵野市を中心に展開する有機給食を実現するための様々な活動<食べ物を変えたいママプロジェクトの有機給食推進事業>	4回	メダカのがっこう田んぼカフェ他	9名	会員及び賛同者 延べ46名	
	メダカのがっこう会員農家等の田んぼの生きもの調査、田んぼの生きもの博士講座実施、消費者への公表。<調査研究部門事業>	延年11回	千葉、栃木、 福島、静岡、 新潟	26名	会員及び賛同者 延べ76名	
その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	「お米くらぶ」(1年分の予約注文)とスポットに米を購入し、農家の生産を支える手助けの仲介<フェアトレード部門> 米並びに自給自足関連商品の普及・販売<商品販売部門>	通年	全国	6人	会員及び賛同者 2000名	
活動実績・方針の広報	機関誌・HPによる広報(活動広報事業)	機関誌は3回 HPは随時更新	郵送・WEB	18名	機関誌は会員及び賛同者に800 延べ3000人	1,000